平成 28 年度(2016)　自己点検・自己評価報告書

学校法人 古屋学園

二葉ファッションアカデミー

平成 29 年 8 月 1 日作成
(2017 年 8 月 1 日)

目　　次

基準１　教育理念・目的・育成人材像等 1

1-1　理念・目的・育成人材像は定められているか 2
1-2　学校の特色はなにか 3
1-3　学校の将来構想を抱いているか 4

基準２　学校運営 5

2-4　運営方針は定められているか 6
2-5　事業計画は定められているか 7
2-6　運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか 8
2-7　人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか 9
2-8　意思決定システムは確立されているか 11
2-9　情報システム化等による業務の効率化が図られているか 12

基準３　教育活動 13

3-10　各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか 14
3-11　各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか 15
3-12　カリキュラムは体系的に編成されているか 16
3-13　学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか 17
3-14　授業評価の実施･評価体制はあるか 18
3-15　育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか 19
3-16　成績評価・単位認定の基準は明確になっているか 22
3-17　資格取得の指導体制はあるか 23

基準４　教育成果 24

4-18　就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか 25
4-19　資格取得率の向上が図られているか 26
4-20　退学率の低減が図られているか 27
4-21　卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか 28

基準５　学生支援 29

5-22　就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか 30
5-23　学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか 31
5-24　学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか 32
5-25　学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか 33
5-26　課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか 34
5-27　学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか 35
5-28　保護者と適切に連携しているか 36
5-29　卒業生への支援体制はあるか 37

基準６　教育環境 38

6-30　施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 39
6-31　学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか 40
6-32　防災に対する体制は整備されているか 41

基準７　学生の募集と受け入れ.....43

7-33　学生募集活動は、適正に行われているか.....44
7-34　学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか.....45
7-35　入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか.....46
7-36　学納金は妥当なものとなっているか.....47

基準８　財務.....48

8-37　中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか.....49
8-38　予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか.....50
8-39　財務について会計監査が適正におこなわれているか.....51
8-40　財務情報公開の体制整備はできているか.....52

基準９　法令等の遵守.....53

9-41　法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか.....54
9-42　個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか.....55
9-43　自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか.....56
9-44　自己点検・自己評価結果の公開はしているか.....57

基準１０　社会貢献.....58

10-45　学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか.....59
10-46　学生のボランティア活動を奨励、支援しているか.....61

基準１　教育理念・目的・育成人材像等

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校は「涵養の精神と職業人としての自立」という建学の精神のもと、服飾全般について高度な専門的学術を教授練磨し、衣生活の改善向上に真に役立つ技能者を育成して社会に貢献すると共に、生徒の一般教養を高め、その品性を陶冶することを目的とし、その実現に向けて取り組みます。 （学則抜粋） ＜目指す学校＞ １．時代に即応し、常に創造・チャレンジをしていく学校。 ２．生徒が希望する進路ニーズに応え、それを全教職員で支援し確実に実現させる学校。 ３．専門的なファッションスキルを身に付け、積極的に社会に参加・貢献出来る人材を育成する学校。 ４．学校行事や学外イベント、各種検定試験の受験等、教職員と生徒が一体となり活動を繰り広げる帰属意識に満ちた活気溢れる学校。 ５．業界団体及び企業・地域と密接に連携する中、真の実学教育を生徒に教授し、職業人として他を思いやり、他と協力する心を持ち、困難な状況に挫けない精神と健康な身体を持つ人間を育成する学校。	本校の教育理念・目的・育成人材像は明確且つ具体的に示されており、学生や教職員等学校関係者だけではなく学外にも公表されている。 平成 24 (2012)年度には、経済社会のグローバル化や、知識・技術の高度化、雇用の流動化に対応した人材を育成する為、従来の専門課程昼間部学科を統合し「ファッション総合学科」を新設。時代のニーズに合わせた学科構成とし、専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行う「職業実践専門課程」として申請、平成 26 年 3 月 31 日付をもって文部科学大臣より認定を受けた。これにより、企業等と連携した実習及び組織的な教員研修を強化することで、教育の質向上を図っている。 又、平成 22(2010)年より「学校品質改善 5 カ年計画（①ハードの部分②ソフトの部分③情報発信の部分④ブランドの見直し⑤品質の評価について）」を実施、新たに平成 27(2015)年度からは「新世 二葉」中期３カ年計画（①建学の理念である「涵養の精神と職業人としての自立」の具現化、②技術と知識のバランスの取れた質の向上及び質の保証、③職業実践専門課程への意向に伴う現行制度の見直し、④自力（地力、胆力）と就職力の醸成及び特色のある教育の両立、⑤学園内外コラボレーションの強化、⑥学生募集における平成 30（2018）年問題の見直し、⑦創立 80 周年記念事業の企画、⑧「呼称」の統一、⑨就職支援室の 3 校 1 本化の実現、⑩第 2 次財務健全化計画）に則り学校運営を展開している。 さらに、文部科学省委託事業「ファッション分野における職業実践専門課程の質保証の評価を推進する事業」に参画、試行事業として第三者評価を受審、適切な学校運営が行われていると認定され、学生・生徒から選ばれる学校を目指し学園全体で質の高い職業教育を実践している。

最終更新日付	2017 年 8 月 1 日	記載責任者	吉野　たけし

1-1　理念・目的・育成人材像は定められているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
1-1-1　学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	5	明確且つ具体的に定めている。	理念・目的・育成人材像について学則及び学校運営体制等で示しており、第三者評価においても認定されている。	特になし。	・学則 ・学校運営体制 ・学校案内書 ・中期３カ年計画 ・第三者評価報告書
1-1-2　理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	5	平成 27(2015)年度からの「新世 二葉」中期３カ年計画を基に、計画を定めている。	基本理念・目的・育成人材像を基に、中期目標及び単年度目標を設定している。	入学者の増減により、計画等の変更・修正を余儀無くされる場合がある。	・学校運営体制 ・学校案内書 ・中期３カ年計画 ・第三者報告書
1-1-3　理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	5	平成 27(2015)年度からの「新世 二葉」中期３カ年計画を基に行っている。	学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会での意見を反映、常に見直しを行っている。	時代の変化スピードが早い為、より注意深く社会ニーズを掌握する努力が必要。	・学校案内書 ・中期３ヵ年計画 ・学校関係者評価
1-1-4　理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	5	学内はもとより学外にも広く周知を行っている。	校内に建学の精神を掲げるとともに、ホームページ等でも広く周知を図っている。	特になし。	・学校案内書 ・学校関係者評価（ＨＰ） ・フェイスブックページ

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理念、目的、育成人材像は具体的且つ明確に示されているとともに、時代の変化に合わせ常に見直しを行っている。又、外部からの意見についても積極的に収集し、外部の委員で構成される、学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会の意見を教育活動に反映させている。	学園創立 80 周年を迎えるにあたり、各種媒体で積極的な周知を行った。

最終更新日付	2017 年 8 月　1 日	記載責任者	吉野　たけし

1-2　学校の特色はなにか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
1-2-5　学校の特色として挙げられるものがあるか	5	より実践的な高度な実学教育の提供を特色としている。	学生オリジナルブランドの設置及び販売、積極的な企業等との協働、東京コレクションへ唯一専門学校として参加。	分野の特性及び小規模校として、時代のフロントランナーである必要がある。	・入学案内 ・学校運営体制 ・第三者評価報告書 ・東京コレクション参加報告書

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学案内に記載している本校の特色は、 １．少人数クラス編制の充実した教育環境 ２．最新の設備・教育プログラムで実践的授業 ３．インターンシップ（職場研修）制度 ４．「実践力」を備えた人材作り　の４点である。	専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行う「職業実践専門課程」として平成 26(2014)年 3 月にファッション総合学科が認定。地域に根ざした職業教育を実践、オリジナルブランド「ハハ」を商標登録、専門学校として初めて「東京コレクション」に参加、4 シーズンに渡り継続している。

最終更新日付	2017 年 8 月　1 日	記載責任者	吉野　たけし

1-3　学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
1-3-6　学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	5	学校の中期目標と方策のもと、構想実現を目指している。	中期目標と方策について、年度ごとに評価を行っている。	急激な教育行政改革の中、文部科学省委託事業等に委員として積極的な参画を果たし、将来構想への判断材料としている。	・学校運営体制 ・理事会議事録 ・中期3カ年計画 ・第三者評価報告書

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中期目標をもとに、学生・生徒から選ばれる学校作りを日々目指している。	急激な教育行政改革の中、文部科学省委託事業等に委員として積極的な参画を果たし、将来構想への判断材料としているが、同時に中長期的構想について重要な要素である入学者数の推移予測が、困難になってきている面がある。教育行政について振り回されず、特色ある教育の実践が第一と考える。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

基準２　学校運営

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校（学園）の建学の精神「涵養の精神と職業人としての自立」及び学則目的を具体的に学事に示し、教職員・学生・生徒に徹底させている。教育指導面においては、運営体制案に示した「目指す学校及び中期目標と方策」の内容に則した指導を行うことで、ぶれない教育を目指すと共に、学生、生徒のレベルアップが課題となっている。 学校運営については、各種審議事項を理事会、評議員会、校長会、教職員会、各種委員会に諮り執行されている。具体的には 2015 年度から取り組んでいる「新世 二葉」中期３カ年計画に基づき運営している。 平成 26 年 3 月にはファッション総合学科が「職業実践専門課程」として認定されたことに伴い、卒業生・業界関係者等外部委員で構成される「学校関係者評価委員会」をより活性化し、学校運営への適切なアドバイスを頂いている。又、教育カリキュラムについても、業界団体・有識者からなる「教育課程編成委員会」との連携を強化、委員会での意見を基に実践的且つ専門的な職業教育を実施している。 これらの学校運営及び教育活動を検証する為、平成 27(2015)年には「ファッション分野における職業実践専門課程の質保証の評価を推進する事業に参画」、試行事業として第三者評価を受審、平成 28(2016)年には、評価委員として岡山県のファッション専門学校の第三者評価に参画した。 又、法人併設校である二葉栄養専門学校・専門学校二葉製菓学校と連携することで、各校の資源を相互に有効活用している。	学事計画運営の特徴である、①校務職務分掌による運営、②合議制、の中で、広報担当者の意見を積極的に活用すると共に学校関係者評価委員会の意見を反映させた。 又、社会が急激な変化を見せる中で、アパレル業界団体・ファッション教育団体・教育行政機関・地域コミュニティーへ積極的に参画することにより、今後の学校運営の方向を見定める材料としている。 又平成 28(2016)年度はアパレル企業、アパレル関連団体、大学教授等有識者で構成された「ファッション分野における職業実践専門課程の質保証の評価を推進する事業」に参画、評価委員として他校の第三者評価に携わった。

最終更新日付	2017 年 8 月　1 日	記載責任者	吉野　たけし

2-4　運営方針は定められているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
2-4-1　学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	5	毎年度学校運営体制案を作成、明確に定めている。	理事会決定事項を基に「学校関係者評価委員会」での意見を参考にしながら、毎年度学校運営体制を定めている。	特になし。	・学校運営体制 ・学校関係者評価委員会議事録 ・第三者評価報告書
2-4-2　学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	4	各種会議等を通し、校長より明示している。	毎年入学式後に、全教員を対象に当該年度の運営体制を発表、周知徹底を行っている。	厳しいけれども温かい学校を実践する中で、学生・生徒との距離が離れないよう留意しなければならない。	・教職員会議議事録 ・第三者評価報告書
2-4-3　学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	4	各諸規定が整備されている。	各種諸規定等については、職員会議→教務会議→委員会会議を経て決定される。	特になし。	・各会議議事録 ・各種諸規定 ・第三者評価報告書

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理事会で承認を受けた学校運営方針は、中期目標を基に毎年度明確に定められており、各年度末にその検証を行い次年度に繋げている。	学校運営については学内だけではなく、学外の委員から構成された「学校関係者評価委員会」での意見を積極的に反映させている。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

2-5　事業計画は定められているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
2-5-4　学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	5	年度ごとに運営体制が定められており、各事業は年間行事予定表で定められている。	年度毎の学校運営体制に基づき年間行事予定表を作成している。	特になし。	・学校運営体制 ・年間行事予定表
2-5-5　学校は事業計画に沿って運営されているか	4	各諸会議に於いて調整され運営されている。	事業計画に沿って、年間行事予定に基づき実行されている。	スポットで外部団体から協働等の依頼もあり、期初の年間計画がずれ込む場合がある。	・年間行事予定表 ・各種事業実施報告書

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年度作成する学校運営体制の中で事業計画は定められており、これに沿って年間行事が定められている。	企業との協働等学内だけではない事業の場合、直前まで予定が立たない場合があり、臨機応変に対応することが求められる。又、このスピード感こそが専門学校の良さであると認識しているが、調整が難航する場合もある。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

2-6　運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
2-6-6　運営組織図はあるか	5	法人組織図が整備されている。	法人組織図及び校務分掌が明示されている。	特になし。	・法人組織図 ・校務分掌表
2-6-7　運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	4	組織図等に基づいた会議体を整備したことにより、効率的なものになっている。	法人理事会、評議委員会、校長会及び諸会議の開催。	各種委員会については、より効率化を目指す必要がある。	・理事会議事録 ・評議委員会議事録 ・校長会議事録 ・運営会議議事録 ・会議体規程
2-6-8　組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	4	校務分掌により明確になっている。	校務分掌に沿った校務推進	校務細分化により、より一層のコミュニケーション能力が教職員に求められている。	・校務分掌

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校運営組織は、法人理事会・評議委員会・校長会及び諸会等にて明確に定められており、効率的且つ合理的なものになっている	中長期計画に基づき、学園内連携事業が多くなる中、連絡調整を密に行うことで効率化を図ることが必要。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

2-7　人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
2-7-9　学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	4	採用責任を明確にし、人事考課項目と連動した面接評定書を導入した採用稟議書制度に則り、公募により人材確保を行っている。	採用段階で入職後の人事考課項目を連動させることで人材目標を明確にしている。	継続的に評価者研修・目標設定研修を行い、人材目標の具現化に向けていく。	・採用稟議書 ・人事考課研修テキスト
2-7-10　人事考課制度は整備されているか	4	人事考課制度の改定を行い、建学理念・中期計画・学校目標とリンクした目標設定と人材目標をリンクさせるフォーマットに改定した。	平成 27(2015)年 4 月 1 日から改定の説明会を実施し、運用開始した。また目標設定・評価者研修を実施した。	制度の形骸化。 改定した人事考課項目の有意性を検証し、項目の精度をあげつつ継続的に研修を行う。	同上
2-7-11　昇進・昇格制度は整備されているか	4	昇進・昇格制度は整備されている。さらに職階と役職手当・職務手当の整備を進めた。	職階整備・各種手当の明確化・人事異動申請制度の導入により、人事考課制度をあわせて、評価・処遇・育成の流れが整備できた。	学校長の任命責任、各上長の申請責任を果たすべく、評価者研修により評価者の目線合わせ・基準の摺合せを行い、公正性・納得性を担保する必要がある。	・人事考課制度 ・賃金制度 ・昇進昇格制度 ・人事異動申請書
2-7-12　賃金制度は整備されているか	3	賃金制度は整備されている。人事考課制度との連動はまだ整備の余地がある。	人事考課制度の改定に伴い、賃金制度との整合性を検証しつつ、体系化を進めている。	賃金制度は人事制度の一部として位置付け、人事考課制度を再整備していく。	・人事考課制度 ・賃金制度 ・昇進昇格制度

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
2-7-13　採用制度は整備されているか	4	採用制度とそれに伴うフローは確立・整備されている。	就業規則を根拠として、採用フローに関連する帳票類も整備されてきている。	予期せぬ退職者及び入学者の増減により、中長期的採用計画が立てにくい状況となっている。	・就業規則 ・採用稟議書 ・賃金規定 ・面接評定票
2-7-14　教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	5	明確に把握している。	増減発生があった場合、その都度、組織図をメンテナンスしている。また部門別人工推移を月次で把握している。	特になし。	・法人組織図 ・人工推移表

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
体系化された人事制度の全体像は明確になってきた。制度としては、評価→処遇の繋がりを残すのみとなっている。評価の納得感を上げるための、考課者研修・面談研修を継続して実施しつつ、より希求する人材像を明確にした職能考課の設定に取り組む段階にきていると考えます。	目標設定・考課者の力量にバラツキがあり、傾向としては具体的成果イメージを目標設定できてない部門は甘い評価結果となっている。 公平感を上げるため、目標設定・考課者研修を継続していかなければならず、公平感なくして、評価→処遇の繋がりを具現化できないと考えます。

最終更新日付	2017年　5月　25日	記載責任者	寺島　秀親

2-8　意思決定システムは確立されているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
2-8-15　意思決定システムは確立されているか	5	理事会を頂点とし、各会に於いて検討決定実施のシステムが整備されている。	理事会、評議委員会、校長会、教職員会議、教務会議、各委員会会議の実施と共に、学校関係者評価委員会会議、教育課程編成委員会会議の実施。	各会議の位置付けを明確にし、会議体系を整備していく。	・各会議議事録 ・会議体規程
2-8-16　意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか	5	制度化されている。	理事会、校長会、教職員会議、教務会議、各委員会会議の実施と共に、学校関係者評価委員会会議、教育課程編成委員会会議の実施。	各会議の位置付けを明確にし、会議体系を整備していく。	・各会議議事録 ・会議体規程
2-8-17　意思決定の階層・権限等は明確か、学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	4	階層・権限等のシステムは整備されている。人材育成に工夫が必要。	学園組織図で階層が明確化されている。人材育成については学園全体で取り組んでいる。	適材適所に人員配置を行い教育する必要があるが、人材確保は学生募集状況と連動する為、調整が難しい面がある。	・会議体規程

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
意思決定のシステムは概ね確立されている。各部署での責任の所在を明確にすることで業務の効率化を図っている。	特になし。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

2-9　情報システム化等による業務の効率化が図られているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
2-9-18　業務効率化を図る情報システム化がなされているか	4	ネットワーク機能の充実が図られているが、不十分な面もある。	学内共有フォルダーの設置及び学園共有のクラウドシステムの導入。	情報流出のリスクを常に背負う。	特になし。

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
より効率的なシステム活用については、まだ改善の余地があると思われる。	情報流出のリスクを常に背負いながらも、情報の一元化をより進めていく必要がある。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

基準３　教育活動

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
少子化及び厳しい経済環境の中、専修学校が生き残っていく為には学校の教育方針として、即戦力となる高度な職業実践的教育の提供が必要である。特に専門課程においては、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的としてファッション分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行う必要があり、これらを構築するべく、専門課程ファッション総合学科については文部科学省に申請、平成 26(2014)年 3 月 31 日付をもって「職業実践専門課程」として認定された。 この認定に則し業界・団体と連携した教育課程の編成及び授業の実践、教員のスキルアップを目的とした研修を通し、職業教育の水準の維持向上を図っている。又、実践的な職業教育の一環として展開している学生・生徒作品販売の場「二葉ファッションマルシェ」と並行して、オリジナルブランド「ハハ」を展開。平成 29(2017)年３月に渋谷ヒカリエホールにて開催された東京コレクションに４度目の参加、ha-ha2017-18A/W コレクションを発表した。 高等課程においても、一般高校とより一層の差別化を視野に入れ、専門課程と連動したファッションに特化した教育を実践、その中で企業等との連携実習を取り入れることで、生徒の職業理解に繋げることができた。	■二葉ファッションマルシェの開催（学生作品販売） ■Amazon Fashion Week TOKYO への参加（東京コレクション） ■オンワード・リユースパークでのリメイク製品の企画・製造・販売 ■イトーヨーカドー八王子店ファッションショーの企画・制作 ■東京・多摩ファッションネットワークの運営 ■教員研究会・研修会の実施 ■地域コミュニティーとの連携（京王キラリナ、武蔵野市商工会議所）

最終更新日付	2017 年 8 月　1 日	記載責任者	吉野　たけし

3-10　各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-10-1　各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	4	各学科に対応する業界ニーズに則し、方向付けられている。	就職支援室から教務課へ常にフィードバックを行うことで、方向付けを確認、修正を行っている。	業界側の採用予定がその年によって大きく変化する場合があり、情報収集のスピードが求められている。	・入学案内 ・授業編成表（時間割） ・シラバス ・職員会議議事録

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各種業界セミナー及び交流会等へ積極的に参加をすることで業界ニーズの把握に努めると共に、教育課程編成委員会の意見を基に方向付けを行っている。	業界は常に変化しており、それに合わせたスピード感と情報の正確さが求められている。その為には、就職支援室と教務課のスピード感をもった連携が必要である。求人先企業へのアンケートを今後行なっていきたい。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

3-11　各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-11-2　各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	4	定められている。	到達可能レベルを入学案内及びシラバスにて示している。	昨年度から取り組んだ教育のレベルアップの成果が出てきているが、未達の部分もある。	・入学案内 ・授業編成表（時間割） ・シラバス

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
積極的に業界ニーズの把握に努めると共に、教育課程編成委員会の意見を反映させ方向付けを行っている。その結果退学者は増加したが、学生・生徒のプレゼンテーション能力は確実にあがった。	業界の人材ニーズレベルが上がり、学生が習得しなければならない知識と技術が増えてきている。これについては、補講及び特別授業等で対応をしているが、教員の負担が増大していることも事実である。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

3-12　カリキュラムは体系的に編成されているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-12-3　学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	4	目標を達成するべく、毎年修正を加えながらカリキュラムが編成されている。	各学科ごとに、シラバスにて、時間数・内容等が明確に定められている。	各教科間の連携をより一層強くすることで、学びの質向上に繋がる。	・シラバス
3-12-4　カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	5	業界関係者はもとより、教育課程編成委員会の意見を反映させ決定している。	教育課程編成委員会を年２回開催、他に積極的な産業界との交流を行っている。	業界ニーズが多岐に亘る為、より幅広い意見の集約が必要。	・教育課程編成委員会議事録 ・教務規則
3-12-5　カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	4	明確になっている。	教育課程編成委員会で示された内容を基に、校長・教務主任を中心として、毎年カリキュラム編成を行っている。	業界の変化が著しい中、今後就職支援室からのフィードバックが重要になってくると思われる。	・授業編成表（時間割） ・シラバス ・教務規則
3-12-6　カリキュラムを定期的に見直しているか	5	毎年度、見直しを行っている。	同上	業界の再編が進む中、中長期的視野に立ってのカリキュラム編成が困難になってきており、毎年大幅な修正を迫られる。	・授業編成表（時間割） ・シラバス ・教務規則

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
カリキュラムは教育課程編成委員会にて示された内容を基に、目標達成に向けた十分な内容を持ち、且つ体系的に編成されている。 又方向を見誤らない為に、常に教職員が業界団体及び教育団体と交流を持ち、積極的な参画を心掛けている。	「教育課程編成委員会」の設置。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

3-13　学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-13-7　学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	4	各学科の到達目標を基に、適正な位置付けがされている。	授業科目、教育内容、年間時間数が明確に定められている。	非常勤講師が担当する教科との連携が弱い部分がある。	・学則 ・入学案内 ・シラバス
3-13-8　各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	5	科目ごとにシラバスを作成している。	授業概要及び到達目標、授業計画が記載されたシラバスを作成している。	一コマごとの授業シラバスも作成している。	・シラバス
3-13-9　各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	5	シラバスは一コマごとの授業シラバスを作成している。	コマシラバスを作成している。	特になし。	・シラバス

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
カリキュラムは目標達成に向けた十分な内容を持ち、且つ体系的に編成されている。シラバスについても出来る限り細分化した内容にすることで、学びの見える化を心掛けている。	特になし。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

3-14　授業評価の実施･評価体制はあるか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-14-10　学生による授業評価を実施しているか	4	専門課程・高等課程共に授業を含め、学校全体としての評価を実施し、学生満足度の向上に努めている。	５段階評価による、学生満足度アンケートを実施。	設問内容の見直し。５段階評価の評価基準をわかりやすくする。	・学生満足度アンケート ・運営体制台帳
3-14-11　授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	4	学生満足度アンケートを基に、適宜検討・評価・指導をしている。	校長による授業見学及び学生満足度アンケートを基に、適否を検討。	高等課程は保護者による授業参観を実施、専門課程についても実施したい。	・学生満足度アンケート

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生満足度アンケートを実施し、学生・生徒の声を聞いている。高等課程については保護者会の中から意見を吸い上げ授業運営の参考としている。次年度は専門課程も実施したい。	特になし。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

3-15　育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-15-12　学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保しているか	4	専門性、資格等必要条件を備えた教員を確保している。	教員履歴書により確認。校長による定期的な面接及び授業参観により、その資質を確認している。	専門性については、時代の中で変化させていく必要がある。	・教員履歴一覧
3-15-13　教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	5	業界レベルに対応している。	教員・講師の採用に関しては、専門性のレベルや鮮度の観点から職歴・更新期間を配慮している。	学生数の関係から、必ずしも適所に配置出来ない面がある。	特になし。
3-15-14　教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	4	校長による教員の専門性の把握と評価を適宜行っている。	授業成果等に問題がみられる教員について面談と指導をした上で評価を行っている。	人事考課シートに基づき評価を行っている。	・人事考課シート ・フィードバックシート
3-15-15　教員の専門性を向上させる研修を行っているか	5	夏季期間等に全専任教員が企業研修に参加している。	夏季期間に全専任教員が企業研修に参加し報告書を提出。	業界の変化に合わせ、教員が持つその専門性についても常にブラッシュアップする必要がある。	・教員研修一覧 ・教員研修報告書

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-15-16　教員の教授力(インストラクションスキル)を適宜把握し、評価しているか	5	教務課内で教授力をチェック。教員の教授力の把握を、面接等を通じて行っている。	教務主任が中心となり、教授内容をチェックしている。特に問題が見られる教員については面談と指導を行っている。	特になし。	・人事考課シート ・フィードバックシート
3-15-17　教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	5	研修期間を設け、教授力の向上を図っている。	非常勤講師を除く全教員が夏季研修に参加、9 月には教員研究発表を行っている。	カリキュラムが複雑化するに伴い、研修期間の確保が難しくなってきている。	・教員研修一覧 ・教員研究発表
3-15-18　教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか	4	必要に応じ、教員間での協力・協業が行われている。	職員会議及び教務会議において、情報交換の他教育面等での協力・協業について協議している。	特定の教員だけに負担がかかる場合があり、ワークシェアリングをより一層徹底させたい。	・教務会議議事録
3-15-19　非常勤講師間で適切に協業しているか	3	協業はしているが、十分とはいえない。	学校行事等では十分な協業が見られるが、日常では講師の時間的制約がある。	相互にスケジュールを調整することにより、連携体制を密に構築する必要がある。	特になし。

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-15-20　非常勤講師の採用基準は明確か	4	明確になっていない面もある。	学歴、職歴、学術的業績等を総合的に判断しているが、学校側のニーズをすべて満たすような人材確保が難しくなっている。	日頃から学校外とのパイプの構築に努めることにより、人材確保がしやすい環境作りをしなければならない。	・面接評価シート

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専門性・資格等必要条件を備えた教員を確保しているが、その採用基準については明確ではない部分がある。又、非常勤講師との連携が時間的制約もあり十分ではないので改善する必要がある。	特になし。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

3-16　成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-16-21　成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	5	明確になっており、教員・学生に周知されている。	学業評価及び課程修了要件が学則に定められている。	単位制への移行も検討している。	・学則 ・進級卒業判定会議 ・教務規則
3-16-22　他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	3	明確な基準がない面がある。	単位互換について明確な定めがなされていない。	明確な基準作成の為に、単位制に移行することを検討している。	特になし。

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価については明確に規定されているが、特に専門課程・一般課程については他の高等教育機関との単位互換に関する明確な基準がない。	特になし。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

3-17　資格取得の指導体制はあるか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-17-23　目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	4	各資格は明確に定められ、周知されている。	取得可能な資格は学科やカリキュラムごとに明記されている。	職業と資格取得の関連性を、より学生・生徒に理解させる必要がある。	・入学案内 ・ホームページ ・第三者評価報告書
3-17-24　目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	5	資格取得を十分サポート出来る内容となっている。	万全を期す為に、各資格取得について授業外の特別補講を実施することで、高い合格率を達成している。	特になし。	・入学案内

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学内で取り組んでいるすべての資格について、授業以外に対策補講講座を開設し万全の体制をとっているが、ファッション分野においては職業独占又は名称独占の資格が存在しない為、その指導に苦慮する面もある。	高等課程では、２年生がパターンメーキング技術検定に挑戦。不合格となったものの、そのチャレンジ精神は高く評価したい。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

基準４　教育成果

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育成果について指標を４点設定している。 １．進路決定率（高等課程）及び就職率（専門課程・一般課程） ２．各種検定試験合格率 ３．中途退学率 ４．外部コンテスト等受賞実績 本年度高等課程の進路決定率は 75%、専門課程の就職率は 89%となった。又各種検定試験合格率は、高等課程ではＦ販売検定・Ｆ色彩検定・日本メイクアップ検定・漢字能力検定準２級試験で 100%、専門課程でもＦ販売検定・Ｆビジネス検定・Ｆ色彩検定・日本メイクアップ検定試験で 100%の合格率であった。全検定試験の平均合格率は 75,1%と昨年に比較し向上した。 高等課程では２年生徒が「パターンメーキング技術検定３級」にチャレンジ、不合格であったが挑戦する気概は大事にしたい。 中途退学率については専門課程、高等課程ともに数値が高くなった。学校満足度アンケートを精査しその原因を明確にする必要がある。両課程ともに、教育内容のレベルアップを図りつつ、学生・生徒に寄り添った指導が大切である。 外部コンテスト等についてはそれなりに入選をしているが、より上のレベルを目指さなければならない。	■専門課程・一般課程 「Ｔシャツデザイン画 100 選」　クリエーター部門賞　１名 入選　１名 「第 32 回ファッション画コンクール」　入選　15 名 ■高等課程 「Ｔシャツデザイン画 100 選」　高校生部門入選　２名 「第 32 回ファッション画コンクール」　佳作　２名 入選　３名

最終更新日付	2017 年 ８月　１日	記載責任者	吉野　たけし

4-18　就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
4-18-1　就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	4	教務課と連携し充実した指導が出来た。高等課程では1名のみ未定となった。	専門課程の就職決定率は昨年度比 15.7%アップ、高等課程の進路決定率は 5%減となったが、未定者は1名のみ。	高等課程は母数が小さい為、未定者が大きく数字に反映されてしまう側面がある。	・年間行事予定表 ・年度別就職状況一覧
4-18-2　就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	学園全体で年度別就職先一覧を作成し明確に把握している。(専門課程)	特になし。	特になし。	・年度別就職状況一覧

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専門課程では、教務課と連携し学生のスキルアップを図る中で、就職決定率が向上した。高等課程では1年次からのキャリアガイダンスに重点を置き、その意識を涵養しなければあらない。	特になし。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

4-19　資格取得率の向上が図られているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
4-19-3　資格取得率の向上が図られているか	3	授業以外に試験対策補講を放課後実施等しているが、全体として取得率向上に繋がっていない。	資格によっては、受験希望者がいない資格がある。	職業と資格の結びつきを学生・生徒に丁寧に伝えることで、取得向上に繋げたい。	・各資格別合否一覧
4-19-4　資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	5	明確に把握している。	全国平均合格率と照らした本校の合格率を表にし、次年度への検討材料としている。	資格の種類により、取得希望者のバラツキが見られる。	・各資格別合否一覧

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各試験ごとに授業中を含め放課後等に対策補講を実施することで、合格率は向上したが、全体の資格取得意識の向上にはまだまだ不十分な点がある。より一層の雰囲気作りが重要である。	特になし。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

4-20　退学率の低減が図られているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
4-20-5　退学率の低減が図られているか	2	各担任による個別指導を通じ退学率の低減を図ったが結果として増加をした。	専門課程→ 昨対 19.5%増 高等課程→ 昨対 26.5%増	常に学生・生徒を注視し、変化の予兆にいち早く気付くことが肝要である。	特になし。
4-22-6　入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	年度ごとの集計により、明確に把握している。	退学者については、退学に至る経緯書を各担任が提出し、広報分門とも情報の共有を図っている。	特になし。	・退学に至る経緯書

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育内容のレベルアップに伴う過渡期とも考えるが、学生・生徒一人一人に時間をかけ寄り添う姿勢が必要。情報については常にスピード感を持って共有する必要がある。	目標とする退学率→各課程ともに 5%以内。

最終更新日付	2017 年 8 月　1 日	記載責任者	吉野　たけし

4-21　卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
4-21-7　卒業生・在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか	4	在校生はもちろんのこと、卒業生についても積極的に情報を得るよう努めている。	卒業生・在校生の活躍を随時ＷＥＢで公開をしている。	まだまだ点での情報であり、今後面としての情報とする為、同窓会設立に向けて担当教員を配置。	・フェイスブックページ ・ホームページ
4-21-8　卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	5	起業している卒業生や企業等で重要なポジションを担っている卒業生が数多くいる。	卒業生の活躍等を随時ＷＥＢで公開をしている。	同窓会準備委員会を活発化させ、その中でより積極的な情報収集をすることが必要。	・フェイスブックページ ・ホームページ ・入学案内
4-21-9　在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか	3	高等課程生徒、専門課程学生ともに、外部コンテストで入選・入賞したが、もうワンランク上を目指す必要がある。	１．Ｔシャツデザイン画 100 選 ２．ファッション画コンクール	より高いレベルのコンテストでの入賞が望まれる。	・コンテスト等受賞者一覧 ・ホームページ ・フェイスブックページ
4-21-10　在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価された例として特筆すべきものを記述できるか	3	昨年度より数は少なく、特筆すべきものがなかった。	１．Ｔシャツデザイン画 100 選 ２．ファッション画コンクール	特になし。	・コンテスト等受賞者一覧 ・ホームページ ・フェイスブックページ

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生・在校生ともに社会的活躍をしているが、それらをタイムリーに、且つスピーディーに外部発信する仕組みをより強固に構築しなければならず、同窓会組織の活性化が必要。	各種コンテストへの動機付けを、しっかりと行う必要がある。

最終更新日付	2017 年 8 月　1 日	記載責任者	吉野　たけし

基準５　学生支援

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職を中心とした専門課程の進路支援では、入学時から指導準備を始め毎月１回実施する就職ガイダンスの中で、学生の適性を見極め個別の進路支援を行っている。高等課程においての進路支援については、まだ改良の余地があり１年次からの段階的なシステム構築を急ぐ必要がある。 学習支援においては、通常授業の補講はもちろんのこと、各種検定試験対策補講、又学生・生徒の自主研究課題に対するアドバイス等も土曜日を利用し行っている。 生活・健康・経済面での支援では、日常の悩み相談から学費納入に関する相談まで、個別に積極的対応を行っている。 又、卒業生に対しては転職相談や仕事における技術的相談等門戸を開いて対応するとともに、卒業生対象の無料スキルアップセミナーを初めて実施、参加者は少なかったが好評を得た。	・卒業生無料スキルアップセミナー　3 月 11 日開催 「イラストレーター＆フォトショップ講座」

最終更新日付	2017 年 8 月　1 日	記載責任者	吉野　たけし

5-22　就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-22-1　学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	就職・進学指導の体制は整備されている。	学園全体の就職支援室と連携し、専門課程・高等課程とも、入学時より計画的に指導体制が構築されている。	高等課程については、その体制が不十分な面もある。	・進路状況調査票 ・就職指導計画表
5-22-2　就職に関する説明会を実施しているか	4	実施している。	1年次の 10 月より、計 11 回のキャリアガイダンスを実施し涵養している。	高等課程については少人数の為、個別相談を中心にした説明会を行っている。	・年間行事予定表 ・就職指導計画表
5-22-3　就職に関する学生個別相談を実施しているか	4	実施している。	就職支援室を中心に、教務課担任及び教科担当による個別相談を適宜実施している。	就職相談室を開設しているが、個別相談時間の確保に苦慮している。	特になし。
5-22-4　就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか	4	実施している。	キャリアガイダンス及び個人面談の中で、具体的に指導。	近年ＷＥＢでのエントリー等が大半を占め、指導方法にも工夫が必要となっている。	・就職指導計画表

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専門課程においては、合同の就職説明会及び個別相談により個々の適性を見極め就職活動を支援、高等課程では２年次よりキャリアガイダンスにより進路指導をおこなっているが、就職や仕事に対する理解度に個人差がある。 高等課程では、生徒により意識の差がある為個別指導を重視した内容としている。	特になし。

最終更新日付	2017 年 8 月　1 日	記載責任者	吉野　たけし

5-23　学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-23-5　学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	3	各クラス担任を中心とした相談体制が整備されているが、有効に機能しなかった面がある。	結果として、退学者が昨年に比較し増加してしまった。	学生・生徒ニーズの徹底的な把握をする必要がある。	特になし。
5-23-6　学生相談室を開設しているか	4	学生相談室を開設している。	学生相談室を開設。各種相談に応じたが、有効に活用されない面も見受けられた。	相談時間の確保に苦慮している。	特になし。
5-23-7　学生からの相談に応じる専用カウンセラーがいるか	4	専任カウンセラーは常駐していないが、学園でキャリアカウンセラーを配置している。	学園として、社会経験豊かなキャリアカウンセラーを設置している。	特になし。	特になし。
5-23-8　留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しているか	4	専任の担当者を配置し、留学生の相談に対応している。	教務課で１名、事務局で１名を担当として配置。	特になし。	特になし。

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校は、学生・生徒と教員の距離が近く面倒見の良いことを特色の一つとしており、担任・教務主任・校長とそれぞれの段階による学生相談を実施する体制を整備している。各担任は相談を待つのではなく、積極的な声掛けを行っているが、結果として退学者が増加したことはこれらが機能していなかったと言わざるを得ない。	特になし。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

5-24　学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-24-9　学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	4	学費の延期納入及び分割納入に対応、奨学金制度の案内を含め整備されている。	学費の納入時に書面にて案内。奨学金制度については募集要項へ記載、入学後のガイダンスや希望者への説明を行っている。	延期納入及び分割納入では対応出来ないケースも多く、家庭との連絡がままならず苦慮するケースも多い。	・学生募集要項
5-24-10　奨学金制度が整備され、有効に機能しているか	4	有効に機能している。	奨学金受給者の増加	奨学金利用者が年々増加傾向にあり、貸与型ではなく給付型の奨学金制度が望まれる。	・奨学金受給者一覧 ・軽減助成受給者一覧
5-24-11　学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか	4	学費の延期納入及び分割納入に対応し、経済的に支援する制度が整備されている。	学費の納入時に書面にて案内。奨学金制度については募集要項へ記載、入学時のガイダンスにて説明。	滞納する学生が増加傾向にあり、給付型奨学金制度の増設が望まれる。	・学生募集要項

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の経済状況に応じ、延納・分納等による経済的支援を行っており、毎年利用者が増加傾向にある。学校独自の支援には限界があり、公的奨学金、特に給付型奨学金の拡大と利用条件の緩和が望まれる。	学生・生徒の経済状況に合わせ、無利子での延納・分納に対応しているが限界がある。又、家庭との連絡がままならないケースが多々あり、その対応に苦慮している。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

5-25　学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-25-12　定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	5	毎年４月に健康診断を行い、健康面への支援を行っている。	入学及び進級直後、全員を対象に実施。高等・専門ともに学校保健法に則し適切に実施している。	特になし。	健康診断報告書
5-25-13　学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	4	教務課にて保健室を管理している。	ベッド、医薬品を常備。	特になし。	特になし。
5-25-14　学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか	3	常駐の医師・看護師はいない。	近隣の病院を指定病院として依頼。	特になし。	特になし。

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生・生徒の入学前の病歴が把握出来ないケースがあり、緊急時の対応が難しい面がある。個人情報保護法を遵守しつつも、各担任は学生・生徒の状況を正確に把握することで、健康管理を担うことが出来ると考える。	特になし。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

5-26　課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-26-15　スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	3	文化系・芸術系を中心としたクラブ活動を展開しているが積極的とはいえない。	災害傷害保険への加入。	各種部活動を展開しているが、学生・生徒が積極的に参加しているとはいえない。	特になし。

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
分野の特性から授業においての課題提出が多く、その為課外活動等に学生が打ち込めないのが現状である。又クラブ活動等における学生のニーズが多様化しており、授業とのバランスを考えながら整備する必要がある。	特になし。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

5-27　学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-27-16　遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5	三鷹に学生寮を完備。管理人常駐の提携学生会館の提供と共に、生活環境への支援を行っている。	学園所有の学生会館の維持及び提携学生会館との契約。	学生会館利用者の減少。	・入寮案内（メゾン二葉） ・提携学生会館資料

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
遠隔地からの出身者は、学費以外に生活費や住宅費がかさみ、保護者への負担が大きくなっている。平成 26(2014)年 1 月に三鷹に学生寮「メゾン二葉」を開館、平成 28 年には学園全体の在校生が使用できる学生会館施設として「ピアッツア デラ コンパーニャ」をオープン、学生・生徒の交流の場として開放している。	「ピアッツア デラ コンパーニャ」を今後積極的に活用するとともに、学生・生徒へのより一層の周知が必要である。

最終更新日付	2017 年 8 月　1 日	記載責任者	吉野　たけし

5-28　保護者と適切に連携しているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-28-17　保護者と適切に連携しているか	4	各担任が窓口となり、出来るだけ密接に連携をとっている。	保護者への学校行事等への参加案内。専門課程、高等課程ともに、学期ごとの保護者会の開催及び授業参観を実施している。	保護者会及び学校行事出席者は、特定の保護者に限られる傾向もある。	特になし。

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
高等課程については、保護者により温度差が見受けられ、参加されるご家庭については、学校に対し有益な意見をいただいている。 家庭と学校の連携は不可欠であり、より積極的な学校行事への参加を期待すると共に、日程等についても保護者の立場にたって熟慮しなければならない。	専門課程についても本年度より保護者会を開催した。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

5-29　卒業生への支援体制はあるか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-29-18　同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	4	卒業生との活発な交流を繋げる為に、同窓会準備委員会を2回開催した。	同窓会設立準備委員会の開催。	同窓会設立準備委員会事務局機能の強化。	特になし。
5-29-19　卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか	4	卒業生を対象とした、無料スキルアップセミナーを開催した。	「フォトショップ・イラストレーター講座」の開催。	卒業生へのフォローアップ内容の周知。	・フェイスブックページ ・ホームページ

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
同窓会設立準備委員会を2回開催し本格的始動に向け、卒業生対象の無料スキルアップセミナーを開催した。今後、業界の活性化を目的とした外郭団体「東京・多摩ファッションネットワーク」と連動することで、交流の幅を広げていきたい。	特になし。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

基準６　教育環境

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
デジタル教育の重要性を鑑み、ＰＣ機器を新規に 15 台導入した。ソフトウェアはＭＳ社のオフィスをベースに、グラフィックソフトはアドビ社のＣＳ３（フォトショップ＆イラストレーター）を組み入れ、ＣＡＤ（パターン）ソフトは東レのクレアコンポ及びアカデミックバージョンを取り入れることで、ファッションデジタル教育の環境を整えた。又、同時に導入した大型モニターについては、１階ロビーにてデジタルサイネージとして活用することで、学校のイメージアップに繋げている。 企業等との連携した授業については、今年初めて高等課程で取り入れた。ヤマタカ捺染工場でプリントＴシャツを製作、販売までを経験することで生徒の業界理解に繋がった。 又専門課程・一般課程では八王子ファッション協議会と連携し、イトーヨーカドー八王子店にてファッションショーを開催。他に、㈱オンワード樫山との連携により、吉祥寺の「オンワード・リユースパーク」にてリメイク製品の企画・製造・販売までを手掛け、全商品が完売することが出来た。 連携実習についても確実にレベルアップをした１年となった。 防災については、校長が防火管理者となり、学校の安全管理に努めている。日頃の啓蒙活動と併せ、年 3 回の訓練を行うことにより安心・安全な教育環境を実現している。	■ＰＣ機器 15 台及び大型モニター2 台導入 ■プリントＴシャツ製作実習（高等課程　ヤマタカ捺染工場） ■ヨーカドーファッションショー「～親子の絆～」 ■「オンワード・リユースパーク」リメイク製品企画・製造・販売 ■法令で定められた「消防設備点検」「電気設備点検」の実施

最終更新日付	2017 年 8 月　1 日	記載責任者	吉野　たけし

6-30　施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
6-30-1　施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	5	時代の動向を見極め、教育効果の向上を目指し、施設・設備の充実を心掛けている。	ＰＣ機器15台を新規導入、ミシンは一人一台を完備。		・備品台帳
6-30-2　施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか	5	メンテナンス体制が整備されている。	専門業者とのメンテナンス契約。	特になし。	・各種メンテナンス台帳
6-30-3　施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	4	教育環境を整備する為、中・長期計画に基づき更新計画を適宜立案し、更新している。	学校運営計画書を毎年作成している。	施設・設備の更新に関しては在籍者数に左右されることは否めない。	特になし。

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
生徒アンケート結果を参考にし、生徒の利便性を考慮し、施設設備の充実を行っている。又、機器等の選定については採用側企業等、業界動向を十分視野に入れて行っている。	・バリアフリー対応 ・校舎内駐輪場完備

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

6-31　学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
6-31-4　学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか	5	業界企業と密に連携をし、年間を通じて数多くの連携実習を実施、より実践的な実学教育を展開している。	スタイリストから販売まで多岐に渡るインターンシップ及び連携実習を実施。	今後連携が充実し拡大することが予想される中で、通常授業との調整を検討する必要がある。	・研修台帳 ・職業教育連携協力協定書 ・連携授業実施報告
6-31-5　学外実習、インターンシップ、海外研修について、その実績を把握し教育効果を確認しているか	4	研修及び企業とのコラボレーションを数多く実施、その内容を台帳にて把握している。	各課程・学科・学年共に研修願い書の提出により実績の確認を行っている。	研修による教育効果を今後就職率及び採用企業へのアンケート等で検証する必要がある。	・研修台帳 ・職業教育連携協力協定書 ・連携授業実施報告

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
日頃より業界企業とコミュニケーションを図ることにより、年間を通じて多くの研修及び企業とのコラボレーションを行っている。 本年度については高等課程においても連携実習を実施、次年度も継続する予定。	特になし。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

6-32　防災に対する体制は整備されているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
6-32-6　防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか	5	教職員による防災組織及び地区担当消防署と連携することにより体制を整備、有効に機能している。	消防計画に基づき、防災教育を実施。 専門業者による年２回の消防設備点検の実施	特になし。	・防火管理維持台帳
6-32-7　災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	5	消防計画に記載し情報を伝達。	消防計画を教職員個々に配布をし、周知徹底をしている。	特になし。	・消防計画
6-32-8　実習時等の事故防止の体制は十分か	4	備品ロッカー等の転倒防止措置を講じ、アイロン等の取扱いについて周知している。	消防計画の配布。防災訓練時に実習時間等の事故防止について周知を徹底している。	学生に対する、より一層の周知徹底。	・消防計画
6-32-9　万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	5	各種保険への加入により、災害発生時に備えている。	災害傷害保険への加入 インターンシップ活動賠償責任保険への加入 学校賠償責任保険への加入	特になし。	（社）東京都専修学校各種学校協会、㈱東京セントラル・日本興亜損害保険会社・三井住友海上火災保険㈱の加入証明書

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
6-32-10　防災訓練を実施しているか	5	年間３回の自衛消防訓練を実施している。	消防計画に基づく自衛消防訓練実施計画。	特になし。	・自衛消防訓練実施結果記録書 ・防火管理維持台帳

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
校長が防火管理者を兼務し、防災に対する意識の向上を心掛けている。 防災訓練については、パターン化してしまう傾向がある為、その実施方法については常に工夫が必要。	年３回の自衛消防訓練を実施。（法令では年２回以上）

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

基準７　学生の募集と受け入れ

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生募集は年次計画に基づき実施している。 学校訪問については中学校・高校共に過去実績等から精査し、学校を絞り込むことにより効率化を図っている。各種広報媒体についても従来からのものに固執することなく、効率化を図った。紙媒体の入学案内書については、常に新しい情報を表記し入学希望対象者が学科内要及び教育内容について理解しやすいような文章表現で表記している。 広報担当者についても適切な人材を配置、専門課程では全体の資料請求者数が大幅に増えた割には歩留まりが悪いという状況であった。 その結果、出願対象となる体験入学参加者の出願率は 38%（昨年 46%）となり、専門課程及び一般課程については、昨年対比を下回った。 高等課程については出願対象となる体験入学参加者の出願率は 45%（昨年 30%）となり昨年を大幅に上回ったが、絶対数が少ない為大きな入学者増にはなっていない。 全体の募集計画を見直すとともに、次年度は特に高等課程の募集活動を強化したい。又学内進学者についても重要課題として認識、高等課程から専門課程へのスムーズな進学促進の為の指導を強化する必要がある。	・フェイスブックページでの積極的な情報発信 ・学校案内書のリニューアル ・体験入学内容の変更 ・ライン、ツィッターの充実

最終更新日付	2017 年 8 月　1 日	記載責任者	吉野　たけし

7-33　学生募集活動は、適正に行われているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
7-33-1　学生募集活動は、適正に行われているか	4	適正に行っている。	年間募集行動計画に基づき行っている。	昨年増加に転じた学生募集が、今年は微減した。その要因を分析する必要がある。	・年間広報計画 ・学生募集要項
7-33-2　学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	4	十分に理解出来る内容になっている。	より分かり易い内容で、リニューアルをした。	分野の特性から、その情報は常に新鮮である必要があり、その経費が負担となっている面もある。	・入学案内
7-33-3　志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	4	あらゆる入学相談に対応したが、行き届かなかった面もみられた。	電話・メールでの相談、来校相談者に対し入学相談担当者を配置。体験入学等についてもパーソナルな対応をしている。	特になし。	・入学案内 ・学生募集要項
7-33-4　募集定員を満たす募集活動となっているか	2	募集定員を充足するに至っていない。	特になし。	現在設定している定員数が適当であるのか、検討する余地がある。	特になし。

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学園広報室を中心に、入学希望者に対し個別相談への対応はもちろんのこと、体験入学を含め見学会を年間約 30 回実施している。毎年傾向が違うということを認識し、体験入学の内容を常にリニューアルする必要がある。	高等課程からの学内進学の方策を最重要課題として取り組む。 全体の定員数については、検討する必要がある。

最終更新日付	2017 年 8 月　1 日	記載責任者	吉野　たけし

7-34　学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
7-34-5　学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか	4	あらゆる媒体を介して情報を発信しているが、情報の更新が遅れる場合がある。	入学案内書及び就職状況一覧の作成。 ＷＥＢにおける情報発信	特に卒業生に関する情報が停滞する傾向にある。	入学案内書 就職状況一覧 ホームページ フェイスブックページ
7-34-6　卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか	3	入学者アンケート等を実施しているが、明確にはなっていない。	特になし。	アンケート設問内容の検討。	・入学者アンケート

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学希望者に対し正確な情報を提供することにより、教育成果を知らしめているが、情報発信媒体の多様化及び複雑化により更新がリアルタイムに行えていない面がある。	情報発信については、入学する生徒が求めている情報を的確に且つスピード感をもって発信するよう努めなければならない。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

7-35　入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
7-35-7　入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4	入学選考基準に照らして、選考を実施している。	入学選考表の作成。	特になし。	・年度別入学選考に関わる表簿 ・募集要項
7-35-8　入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	4	年度ごとに数値の推移をまとめ把握している。	年度毎の出願者及び入学者の集計表を作成。	特になし。	・年度別出願者及び入学者一覧

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考は、入学選考基準（評価表）に基づき行っている。	一般での出願者は少なく、その多くを指定校推薦が占めている。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

7-36　学納金は妥当なものとなっているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
7-36-9　学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	4	妥当である。	財務関係書類で確認。	分割及び延滞納入者が増加している。	特になし。
7-36-10　学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	4	把握している。	財務関係書類で確認。	分割及び延帯納入者が増加している。	特になし。

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学納金は、中長期計画に基づき理事会で決定される。	本校高等課程から専門課程への学内進学者については入学金を免除。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

基準８　財務

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
少子化の中、中長期的にみて学生数の確保が難しくなることが予想され、財務体質の強化が必須と考えている。 支出に関しては中期計画に則して順調に進捗している。 収入に関しては、学生募集状況により大きく左右されるため、高位安定させるには、各校・広報室・事務局全教職員が協働することが必須と考えている。 資産運用に関しては、資産運用管理規程に則して適切に運用されている。 18 歳人口の減少という如何ともしがたい要因はあるものの、退学率の上昇による収入減が収支悪化の最大要因となった。	数値は平成 28(2016)年度実績 （　）内数値は平成 27(2015)年度実績 【　】内数値は平成 27(2015)年度私立専修学校平均 **■帰属収支差額比率** 14.3%（17.9%）と前年より低下したが、平均【10.1%】は上回る結果となった。 消費支出は目安としている 8.5 億と予算通りとなったが、例年の 2 倍近い退学者による学費収入の低下が原因となっている。 **■人件費比率** 41.9%（40.5%）と前年より上昇し、平均【41.6%】をも上回る結果となった。 要因としては、上述の帰属収支差額比率で記載している学費収入の低下が原因となっている。 **■総負債比率** 23.7%（25.7%）と前年より低下し、未だ平均【20.8%】を上回っているものの、借入金返済完了予定である平成 37 年度末に向けて予定通りの進捗となっている。

最終更新日付	2017 年 5 月 31 日	記載責任者	寺島　秀親

8-37　中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
8-37-1　中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	単年度の貸借対照は改善され、長期借入金の返済・流動資産の増加により、財政基盤は安定化してきた。少子化・ハード面の投資計画を鑑みると継続的に改善しなければならない。	学校法人基本調査（資金収支・事業活動収支計算書、貸借対照表）。	現状から、中長期的に見て学生数の確保が難しくなることが予想される為、経費見直し等を随時行っている。	・学校法人基本調査（資金収支・事業活動収支計算書、貸借対照表） ・財産目録 ・経理規定等
8-37-2　主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	5	決算情報を開示しており、主要財務数値も業界平均と比較して統計をとっている。	学校法人基本調査（資金収支・事業活動収支計算書、貸借対照表）。	特になし。	同上

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
必要な将来に向けた投資は行い、無駄を省くことを、ガバナンスをきかせながら取り組んでおり、安定化に向けて着実に改善が進んでいる。	特になし。

最終更新日付	2017年 5月　31日	記載責任者	寺島　秀親

8-38　予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
8-38-3　年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	4	事業計画および予算案を精査し、かつ学生募集状況を鑑みて期初に決定している。	各部署からの事業計画および予算。	中長期計画に則した形で、随時単年度予算の内容を期中においても精査・修正していく。	・事業計画書 ・予算書
8-38-4　予算は計画に従って妥当に執行されているか	4	中長期計画及び単年度目標、事業計画に照らして執行されている。	各部署からの稟議書起案に沿ってチェックしている。	予算の執行管理を経理システムにより随時確認がとれるようにしていく。	・事業計画書 ・稟議書 ・予算書

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
年度予算計画に沿い、各部署からの予算請求を稟議書によるチェックをもって適正に処理されている。	各部門に関連する勘定科目を各種書式に落とし込み、全教職員がコスト意識をもてるよう取り組んでいる。財務会計に関しては、月次で把握できるようになった。予算は月次で進捗管理し、四半期毎に決算見込みを算出しながら予算・収支計画を進捗させている。

最終更新日付	2017 年 5 月 31 日	記載責任者	寺島　秀親

8-39　財務について会計監査が適正におこなわれているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
8-39-5　財務について会計監査が適正におこなわれているか	5	会計監査は公正・正確に行われている。	監事および税理士による監査	特になし。	・決算書 ・監査報告書
8-39-6　会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	5	年次決算の早期化が進み、監査および評議員会諮問・理事会決議が計画通りに実行できている。	5月末理事会から逆算して2週間前に決算書を完成させている。	月次処理を確実に行い、結果として監査スケジュールに余裕をもたせる。	特になし。

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財務については監査スケジュールを明確に定め適切な監査がなされた。	問題なく余裕をもって年間計画通りになされている。

最終更新日付	2017年　5月　31日	記載責任者	寺島　秀親

8-40　財務情報公開の体制整備はできているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
8-40-7　私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	5	5月中旬には決算が確定し、財務諸表を毎年5月末までに公開する体制ができている。	5 月中旬に監査を実施し、評議員会による諮問、理事会による決議を5月末までに行っている。	特になし。	・財務諸表（資金収支・事業活動収支計算書、貸借対照表）
8-40-8　私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか	5	形式を考えて公開している。	ホームページにて公開。	特になし。	・学校法人財務諸表（資金収支・消費収支決算書、貸借対照表） ※ホームページに記載

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育機関としての説明責任を果たすべく、学校法人財務諸表（資金収支・事業活動収支計算書、貸借対照表）をホームページにて公開している。	特になし。

最終更新日付	2017年 5月 31日	記載責任者	寺島　秀親

基準９　法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
組織に於いて法務に関する事項、行政指導、所轄庁からの通知等の明示管理及び専修学校設置基準を遵守している。 又、学校教育の基本となる、教育基本法・学校教育法について把握をするとともに、学校保健法や消防法等についても改定毎に迅速な対応を心掛けている。 2015 年は、文部科学省委託事業である「ファッション分野における職業実践専門課程の質保証の評価を推進する事業」に参画、試行事業として第三者評価を受審した。平成 28(2016)年には評価委員として、岡山県のファッション専門学校の評価に校長が携わった。	ここ数年、教育行政機関からの行政指導及び通知については、急を要するものが多く見られ、特に本校のような小規模校にとっては校務に支障をきたすものが多々あった。又、内容も多様化・煩雑化しており、教職員の負担増大による教育の質の低下を招かぬようにしなければならない。 特に職業実践専門課程については、今後の動向が不明な部分が多々あり、混乱を招かぬよう注意する必要がある。

最終更新日付	2017 年 8 月　1 日	記載責任者	吉野　たけし

9-41　法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
9-41-1　法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	5	学則及び中期計画（3ヵ年計画）に照らし合わせ、専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	教育行政機関からの通知指導等は各部署に回覧周知させ、重要案件についての対応は本部を含め協議をしている。	法・条例等の改正に対しての迅速な対応。	特になし。
9-41-2　法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	5	特に教職員に対しては、積極的な啓発活動を行っている。	朝礼及び職員会議等において、周知を図っている。	教育行政機関からの生徒通達の件数が年々増加しており、対応に苦慮している。	特になし。

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
行政からの通知・通達等に関しては、速やかに全教職員へ朝礼・会議・メールを通し周知を図っている。	教育行政機関からの生徒・学生への通達は、その重要度により書面にて保護者へも連絡をしている。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

9-42　個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
9-42-3　志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5	個人情報保護法を遵守理解し啓発活動を行っている。	個人情報保護方針に沿って取扱いが行われている。	特になし。	・個人情報保護方針 ・情報公開承諾書
9-42-4　個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	4	日頃より注意を促しているが、学生・生徒に対する啓発活動が弱い面がある。	SNS 等への書き込みについて、一部ではあるが無防備な面が見受けられる。	特に高等課程生徒について、ホームルーム等で、SNS への注意喚起を促している。	・個人情報保護方針 ・情報公開承諾書

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報の取り扱いについては、日頃より注意喚起を促すことで、教職員、学生・生徒にも浸透している。	データ管理については、常に気を配る姿勢が教員に求められている。

最終更新日付	2017 年 8 月　1 日	記載責任者	吉野　たけし

9-43　自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
9-43-5　自己点検・自己評価を定期的に実施し、問題点の改善に努めているか	5	自己点検・自己評価を毎年度実施、これを基に学校関係者評価へと繋げ、諸問題に積極的に取り組んでいる。	年2回以上開催している学校関係者評価委員会の中で、外部委員の意見を取り入れながら改善に努めている。	自己点検・自己評価の重要性を理解し、制度を浸透させることにより教育の向上につなげる。	・自己点検・自己評価報告書 ・学校関係者評価委員会議事録
9-43-6　自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	5	方針及びその目的は明確に定められている。	目的及び方針は、自己点検及び評価等実施委員会規定に明記され、確立されている。	特になし。	・自己点検及び評価等実施委員会規定
9-43-7　自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	4	方針を正確に伝え、各部署においてその方針を真摯に受け止めている。	書類作成における正確な情報提供及び課題の抽出。	各部署による一層の連携。	特になし。

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自己点検・自己評価を毎年度実施すると共に、これを基に学校関係者評価へと繋げ、外部からの意見を積極的に取り入れ問題点の改善に努めている。	今後、課程別に分けた評価報告書も検討している。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

9-44　自己点検・自己評価結果の公開はしているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
9-44-8　自己点検・自己評価結果は公開しているか	5	毎年 6 月を目途に、前年度に対しての自己点検・自己評価結果を更新、公開をしている。	学校ホームページに掲載。	特になし。	・学校ホームページ
9-44-9　自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか	5	公開についての方針は、実施委員会規定にて確立されている。	二葉ファッションアカデミー自己点検及び評価等実施委員会規定第９条に公表を明示。	特になし。	・自己点検及び評価等実施委員会規定
9-44-10　自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	5	方針を正確に伝え、各部署においてその方針を真摯に受け止めている。	特になし。	特になし	特になし。

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年度評価結果を更新、公表することで積極的な情報公開に努めている。	特になし。

最終更新日付	2017 年 8 月　1 日	記載責任者	吉野　たけし

基準１０　社会貢献

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
社会貢献については学校全体で取り組むべき問題として、地域の各団体等と連携を図る中で行っている。 武蔵野市においては地域団体への場所の提供、学生オリジナルショップ「二葉ファッションマルシェ」の売上金の一部を武蔵野市社会福祉協議会へ寄付を行った。又、清掃活動に教職員が参加、商工会議所主催事業にも積極的に関わることで地域貢献を果たしている。 高等課程では、教員とともに生徒が街頭に立ち赤い羽根募金運動に参画したり、社会福祉法人施設でのバザーに積極的に協力することで、地域コミュニティーの理解にも繋がった。 業界団体とは、八王子ファッション協議会との協同を中心に地域との連携を図った。	・武蔵野雑学大学への教室提供 ・ストリートアートギャラリーへの場所提供 ・吉祥寺エリアウエストへの教室提供 ・二葉ファッションマルシェ売上金の一部を寄付 ・被災地支援の校内募金箱の設置 ・朝陽学園バザーへの協力

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

10-45　学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
10-45-1　広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	5	高等課程、専門課程共に、教育団体・業界機関、地域との連携・交流を積極的に行っている。	・八王子ファッション協議会 ・日本アパレル産業協会 ・東専各連、全専各連 ・地域団体、商工会等との連携を行っている。	各機関・団体との連携が密接になるに従い、学生・生徒への負担も増えてきており、整理をしながら進める必要がある。	・学校ホームページ ・フェイスブックページ ・入学案内
10-45-2　学校の資源を活用し、生涯学習事業や附帯教育事業を行っているか	4	業界団体との勉強会や、卒業生を対象にしたキャリアアップセミナーを開催し資源の活用に努めている。	・八王子ファッション協議会との勉強会。 ・卒業生対象キャリアアップセミナー。	今後社会人等を対象とした附帯教育授業の必要性を感じている。	同上。
10-45-3　学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか	5	積極的に地域社会と連携している。	地域団体へ教室等の貸し出しを行っている。	空き教室の確保。	・武蔵野雑学大学 ・ストリートアートギャラリー ・吉祥寺エリアウエスト
10-45-4　諸外国の学校などと連携し、留学生の相互の受け入れ、共同研究・開発を行っているか	ＮＡ	現在は行っていない。	本校は地域密着型の学校運営を標榜している。	検討すべき重要事項の一つと捉えている。	特になし。

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
10-45-5　重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓蒙活動を行っているか	4	必要に応じ教職員による朝礼、学生・生徒にはホームルーム内で行っている。	教職員へは朝礼にて、学生生徒にはホームルーム内で啓蒙している。高等課程については、キャリアガイダンスの授業にて問題提起。	専門課程については、専門教育が大部分を占める為、その時間の確保が問題となっている。	特になし。
10-45-6　学校として重要な社会問題に具体的に取り組んでいるか	5	時代に即し取り組んでいる。	地球温暖化及び節電対策の実施。校内における東北大震災義援金の継続。熊本災害義援金の募金活動。	特になし。	・校内掲示物 ・募金箱 ・キャリアガイダンスファイル

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
地域及び業界団体との連携を行っている。地域への貢献、業界団体への貢献を常に教職員は考え、学生と共に各種連携を行っている。 特に高等課程生徒については、キャリアガイダンスの授業を利用し、様々な社会問題について生徒が能動的に考える機会を創っている。	特になし。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし

10-46　学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
10-46-7　学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	高等課程については積極的な支援を行っている。専門課程については積極的とはいえないがある。	高等課程については、赤い羽根募金活動や社会福祉法人のバザーに協力している。	分野の特徴として課題が多い故、その為の活動時間を捻出することが難しくなってきている。	・朝陽学園バザーレポート ・赤い羽根募金レポート
10-46-8　学生のボランティア活動の状況を把握しているか	4	活動状況を把握している。	日頃の学生・生徒面談及び高等課程では保護者会を通じ把握している。	特になし。	特になし。

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専門課程学生のボランティア活動については本来奨励すべきものであるが、活動時間の確保等検討すべき課題があり、奨励・支援体制は積極的とはいえない面もある。現在は学生の自主的な活動に任せており、今後活動の可能性そのものについては検討を有する。	特になし。

最終更新日付	2017年 8月　1日	記載責任者	吉野　たけし